

日本物理学会領域 2 運営会議 議事録

日時: 2019 年 03 月 15 日 (金) 12:10-12:55

場所: 九州大学伊都キャンパス K307

司会: 領域 2 代表 洲鎌、参加者約 30 名、書記: 白石

報告事項

以下、項目 1 - 7 について、洲鎌代表より資料を用いて説明がされた。

1. 2019 年 4 月からの役員体制・役割分担

(2019.4~2020.3)

領域代表 藤田隆明さん (名古屋大学)

領域副代表 金子俊郎さん (東北大学)

領域前代表 洲鎌英雄さん (核融合科学研究所)

次期領域代表・副代表の推薦時期: 2019 年秋季大会運営会議 (⇒10 月末)

2. 2019 年 10 月からの領域役員の推薦

次期領域役員 小林進二さん (京大エネ研)

次期領域役員 沼田龍介さん (兵庫県立大)

次期領域役員 佐野孝好さん (阪大レーザー研)

領域委員: 2020.4~2022.3、役員 2019.10~2022.9

次期領域役員の推薦時期: 2020 年春・年次大会運営会議

3. 学生優秀発表賞受賞者報告

2018 年秋季大会から、学生優秀発表賞は日本物理学会が授与する賞となった。

物理学会ホームページにも掲載されている。

15 名の応募があり、そのうち 4 名選出 (前回 (2018 春)) は 24 名応募、4 名選出)。

○東直樹さん (阪大理)

「ピコ秒超相対論的レーザーによる固体の直接加熱と熱輸送に関する研究」

○西浦洋輔さん（京大院理）

「CR-39 の 2 段階エッチングによるレーザー加速プロトン誘起 $7\text{Li}(p, \alpha)4\text{He} \cdot 19\text{F}(p, \alpha)16\text{O}$ 反応生成 α 粒子の検出」

○今義毅さん（東北大工）

「水素イオン源ビーム引出し特性に対する高周波電場振動の効果の検証」

○平岡勇人さん（山口大院創成）

「負イオン崩壊を抑制した水素イオン性プラズマの波動伝搬」

4. 若手奨励賞（第 13 回（2019 年））報告

（1）岩田夏弥さん（大阪大学レーザー科学研究所）

研究題目：ピコ秒相対論的レーザーによる非平衡プラズマの理論研究

（2）成行泰裕さん（富山大学人間発達科学部）

研究題目：非線形磁気流体波の変調不安定性に関する理論的研究

本日、受賞記念講演を行った。

5. 2019 年秋季大会企画セッション・シンポジウム提案

企画セッション「高エネルギー密度科学」 提案者：児玉了祐さん（阪大）

2016 年秋季大会運営会議にて新規採択

期間：2017 年年次大会（3 月）～2018 年秋季大会終了まで

延長申請され、2018 年秋季大会運営会議にてさらに 4 大会分の延長が認められた⇒
2020 年秋季大会まで

（申し合わせ事項については領域 2 の HP (<http://www.r2.div.jps.or.jp/>) の企画セッションを参照)

企画セッション「非平衡極限プラズマ」提案者：藤澤彰英さん（九大）

2017 年年次大会（3 月）運営会議で新規採択

期間：2017 年秋季大会（Plasma2017）～2019 年年次大会（3 月）まで

延長申請はされず。藤澤さんから、「非平衡極限プラズマ」を第1キーワードに入れる提案あり。ただし、基本的には運営委員の判断にゆだねる。

第1キーワードはセッション用。プログラム編成上、第1キーワードは減らす方が望ましい。(非平衡極限プラズマへの申し込み数では1セッションをつくれなない。)分野横断という意味では残すのが望ましいので、第2キーワードに入れるのはよいのでは(高エネルギー密度科学も第2キーワードにある)。

⇒承認された

シンポジウム提案は4/8-4/26。その前に領域2として内容を見る。

6. 領域委員会(2018年11月13日)報告

2019年年次大会シンポ等の企画・提案について

領域2提案:

領域2 日本物理学会若手奨励賞受賞記念講演(1件)

シンポジウム講演(2件)

「チャープパルス増幅法(CPA)」「レーザープラズマX線源の物理と応用」

企画講演(1件)高瀬雄一さん「全日本的連携による球状トカマク研究の現状」

招待講演(3件)

松山顕之さん「トカマク放電のメジャーディスラプションにおける相対論的逃走電子ビーム形成」

佐々木真さん「磁化プラズマにおける乱流の時空間構造」

辻村享さん「大型ヘリカル装置における電子サイクロトロン加熱の入射最適化に関する研究」

すべて承認・採択。

昨秋運営会議等で説明されたシンポジウム「計算物理学への誘い」は採択された。ただし、計算物理領域の新設については、手順を踏んで様々な要件を満足していく必要がある。

7. その他

1. 講演の移動について

プログラム公開後(しかし刷り上がり前)に登壇者から事務局に講演時刻の移動

希望があった。

事務局から

- ・講演の移動は、各領域の運営委員の判断にまかせる。
- ・今回の場合は、移動や取り消しによる講演時間繰り上げは認めている。刷り上がり後は不可。(領域 2 としては、プログラム公開後も同等と考える)
- ・講演時間繰り上げの範囲は、休憩時間まで。

(藤田さんのご指摘の点について) 確かに範囲が明確でない。今回反映できるかは分からないが、今後は「移動 (以下、休憩まで講演時間繰り上げ)」などの表記を検討する。

領域 2 としては、收拾がつかないため、プログラム公開後も原則講演の移動は認めない。取り消しあるいは代理講演とすること。

⇒確認された。

2. AAPPS-DPP 活動報告 (物理学会年会)

資料を用いて菊池満さんが説明された。

第 2 回年会は 2018 年 11 月に金沢で開催。参加者 682 名。チャンドラセカール賞は田島俊樹教授。若手賞(U40)、学生賞(U30)の紹介。第 3 回年次大会は 2019 年 11 月に中国合肥で開催。推薦締め切りは以下の通り。チャンドラセカール賞、イノベーション賞は 3 月末、U30、U40 賞は 5 月末、招待講演は 4 月まで延長の予定。一般公演は 6 月 15 日まで

3. 2018 Nobel Physics Prize for CPA led to the development of high-power lasers for HEDP

領域 2 としてポジティブなニュース。3/16 に CPA に関するシンポジウム講演がある。

4. National Academy burning plasma final report was issued on December 13, 2018

核融合分野にとってはポジティブなニュース。本レポートは、アメリカの ITER への参加継続とデモ装置に至る戦略立案をサポート。核融合予算の増加。

5. 領域2 講演数の推移

今回の講演数は157。年次大会としてはこれまでと同じくらい。

6. 領域2 懇親会

3/15（金）18:00-20:00

場所：活魚茶屋ざうお本店 http://www.zauo.com/zauo_honten/

* 往) 伊都キャンパスから 復) 九大学研都市駅まで送迎あり

以上